

寺報

No.683

令和6年7月

蓮華寺
發行

御聖訓

人には必ず二つの天、影の如くにそいて候。所謂一をば同生天と云ひ、二をば同名天と申す。左右の肩にそひて人を守護すれば失なき者をば天もあやまつ事なし況や善人においてをや。

『乙御前御消息』



(解説)

人には、生まれながらにして、二つの守護神が影のように備わっています。

一つは『同生天』といい、我々の生命を守る神様でもう一つは『同名天』といい、我々の生活を守る神様であります。

日蓮大聖人は、我々がまずこの二つの守護神を合わせた『俱生霊神』の存在を知る事を強く訴えられています。

つまり、この俱生霊神は常に我々の身体から離れないので、我々の大きな罪や小さな罪を見逃さないし逆に大きな功德や小さな功德も同じように天に報告するといふのです。

したがって、我々はこの存在を知る事で、悪事が出来なくなり、常に正しい道に進んで行くようになるのです。

それは天が罪なき人を罰する事はしないからです。どうか、我々はこの日蓮大聖人の教えを理解し、毎月の俱生霊神符（お守り）を身に着け、常に守護して戴くように信仰をしていきましょう。

鬼子母神大祭

七月六日(土)

午後六時半より

法話…日蓮宗青森県宗務所伝道参事

青森市 野内 妙覚寺住職

工藤 泰輝 上人

*『鬼子母神』様は「家内安全」「身体健全」「子孫繁栄」「安産成就」等を叶えます善神です。

*小さなお子さん、お孫さんをお持ちの方、また出産予定の方は必ずご祈願、ご参拝下さい。

②ご祈禱がありますので、どうか法要の開始時間に合わせてご参拝下さい。

また、法要終了後の「法話」も必ずご聴聞下さい。お願い致します。



お知らせ

【一般御祈願】・・・千 円 (読み上げ・お札)

皆様の「家内安全・身体健全等」、また子供さんお孫さんの「発育増進・安産成就等」の御祈願、読み上げをします。

【特別御祈願】・・・二千円 (読み上げ・木札)

御祈願の仕方は一般と同じですが、長さ一尺(約三十センチ)の木のお札が付きます。

【一般御法楽】・・・千 円 (読み上げ・お札)

皆様のお名前を読み上げまして「鬼子母神様」をご法楽(法華経を以て神仏に楽しんで戴き、また自らも徳を積むという意味)します。

【特別御法楽】・・・二千円 (読み上げ・お札)

各家庭にお祀りしています「鬼子母神様」のご尊像と掛け軸を、大本堂の御寶前にお祀りし、僧侶全員にて読経・ご祈禱し、お名前も読み上げします。

どうぞご持参下さいますように、お願い致します。尚、当日お参りの出来ない方は、前以てお寺に預かり下さい。

鬼子母神様

蓮華寺では、昔より三体の『鬼子母神』様がお祀りされています。

いわゆる鬼形きぎょうといわれる恐い顔をした鬼子母神様が、大本堂と小本堂に一体ずつ、そして大本堂の宮殿くうでん(神仏が祀られている処)の中には、優しく子供を抱き天女のお顔をした鬼子母神様です。

毎年、大祭の時には正面に祭壇を設け、三体一緒にお祀りしていますので、お分りになると思います。

そもそも、鬼子母神様は古代インドのお話に出てきます『羅刹女らせつにょ【鬼】』で、名を訶利帝母かりていもといい、自分の子だけを愛し、他人の子を殺して食べるという悪行を働いていました。

しかし、お釈迦様に諭されて、自らの過ちに気付き、今までの罪を懺悔さんげし、終にはこの世のすべての子供を守る事を約束されたのでした。

このお誓いに基づき、安産と子育ての守護神として、信仰されるようになりましたのが、【天女】のお姿をした鬼子母神様です。

また、法華経の行者に危害を加えようとする者を威圧し、恐れさせ、守護してくれるように【鬼】のお顔を

した鬼子母神様も、その後お祀りされました。

法華経の第二十六章

『陀羅尼品だらにほん』には、鬼子

母神様は十人の羅刹女

と共に、法華経の行者

を守護するという誓いを立てたという処から、日蓮宗

のお寺では必ず鬼子母神様をお祀りし、広く信仰して

きました。



日蓮大聖人も、鬼子母神様と十羅刹女を法華経守護の善神として、『大曼荼羅御本尊かんとらぎほんぞん』に勧請し鬼子母神様は十羅刹女の母であると説かれています。

この教えのもと、我々日蓮宗の信者は、鬼子母神様を大切にお祀りし、信仰していかなければならないのです。

特に出産予定の方、小さなお子さんをお持ちの方、また檀信徒の皆様方、自らがお寺に足を運びになり、お題目を唱える事で、鬼子母神様のお力を戴こうではありませんか。

檀信徒研修会のお知らせ

☆七月二十日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間…午後七時より

場所…小本堂「イス席です」

持参品…聖典(事務所)・数珠・太鼓(所有の者)

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張って修行して下さい。

みんなで参拝しよう

新たに蓮華寺の檀家を希望する方へ！

新しく『廣布山蓮華寺』の檀家になりたいと希望する方は、特別の手続きなどはありませんので、入檀の誓約書を書いて戴き事務所までお申し込み下さい。いつでも登録出来ます。

その際に献金はなく、当山を維持運営します護持会費(年六千円)のみを納めて戴きます。

また他宗から改宗する場合も、同様ですのでご安心下さい。

日蓮宗に改宗する場合は、必ず戒名を変えて戴きますが、その際も無料で普通戒名は授けております。

しかし、それ以上にご希望がある場合は、お寺にご相談下さい。

ただし、ご本尊(大曼荼羅)・日蓮大聖人のご尊像・過去帳・仏具などの必需品は、各家で実費でそろえて戴きます。

現代は信教の自由が保障されていますので、ご自分の意志で信仰したい宗派を決める事が大事でしょう。

「盛運祈願会」に参拝し

お守りを戴きましょう！

我々は先祖や過去の因縁により、知らず知らずの間に悪業の種をまき、思いも知れない事故や事件に見舞われる時があります。

このような状況から常に我々の身体を守ってくれますのが『俱生靈神符』(毎月のお守り)であり、更にその月の運勢が良くなりますようにと、祈念する行事を「盛運祈願会」といいます。

蓮華寺檀信徒の皆様は、この為に毎月(ついたち)の午後一時のお勤めに参拝し、自らの罪を懺悔滅罪し、一心にその月の盛運を祈願し、更により強いご守護が戴けますようにと祈り、お守りを交換しています。しかし、中にはお守りのみを求め、「盛運祈願会」に参拝しない方もいます。

我々は常に御本尊様・日蓮大聖人・諸天善神へのご報恩感謝を忘れてはいけません。

どうか皆様は「盛運祈願会」には必ず参拝し、法華経・お題目を唱えて、そして自らの悪業の因縁を立ち切るようにしていきましょう。

『聖徒団会員』募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」のお勤め中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞【聖徒タイムズ】・寺報等の援助などに活用しています。

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

事務所までお申込み下さい。【随時受付中】

『靈神符』を持ちましょう！

最近はある思いもよらない事故や災害が多発したり、特に子供さん達が巻き込まれる悲惨な事件も増えてきています。

檀信徒の皆様も「私だけは絶対大丈夫」などという考えはお止めになりまして、どうか素直に毎月の靈神符(お守り)を肌身離さずお持ちになりますようにお願い致します。



来月

八月

お盆の棚経のお願い

毎年蓮華寺では、お盆の供養の為に棚経を八月の十四日より十六日まで『旧市内』、十七日より二十日まで、皆様からご依頼がありました『新市内』の檀家さんを回っております。

一週間で回れる軒数は、僧侶の人数の関係から限られてしまいます。

特に最近では、市内の環境や道路事情により新市内の檀家が増え、十七日以降の棚経のご依頼が多くなつてきています。

しかし、十七日からは、お盆中に去くなりました方々の葬儀等も行なう状況から、あまり多くの家庭は回れません。

そこで、当山では棚経を八月一日から回れるようにしております。

どうか、棚経をご希望の方は、お早目にお申し込みの上、日時を決めて戴くようお願い致します。

なお、例年通りの日時でよろしい方は、そのまま結構です。

お盆『墓経』のお願い

例年、八月十三日に三内霊園でお盆の墓経を行っていますが、今年は僧侶が五人しか確保出来ませんでしたので、『午前六時から午後二時三十分まで』行う事になりました。

檀信徒の皆様も、どうかお時間をご確認の上、三内霊園の詰所（蓮華寺のテント）までお申込み下さい。どうぞ、よろしくお願い致します。

『靈断』のすすめ！

檀信徒の皆様で、日頃から何かお困り事や悩み事がありましたら、迷わず蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて、当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお秘密厳守にて、宗旨宗派は問いませんので、お気軽にご相談下さい。

【ご相談料は、原則として一件につき三千円です】

ご首題帳（ご朱印帳）

当山では、季節ごとに新たなデザインの『ご首題』を用意しておりますので、どうか、ご利用下さい。

『位牌壇』の募集！

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様のご先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様のご命日に旅行などで不在の時や、ご高齢で家庭で追膳が作れない場合でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めず仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも大丈夫です。

◎現在『位牌壇』をお持ちの方で、一年以上ご使用の方には、上位で空いている『位牌壇』を無料でお譲りしています。（※管理費は変わります）

ですから、『三席』から『特席』にも上がれます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来て助かります。

水子さんのご供養

今年もご供養の為に、当山境内地の『水子観音様』に『風車』を上げて下さい。

一体七百元で、葉の部分に供養の言葉や名前が書けますので、事務所までお申込み下さい。



『提灯』の募集！

当山で「鬼子母神大祭」「御会式」「お正月」の際に掲揚します『提灯』（トロー）を募集致します。作成価格は八千円で、年間の管理費が二千円となりますので、初年度のみ一万円となります。

お知らせ

★『日蓮宗 朝夕のおつとめ』

（お経の解説付）

一、二〇〇円

★『声に出して読みたい』

日蓮大聖人のお言葉

御一代記（解説付）

※いずれも事務所まで

一、二〇〇円

七月の行事

一 日(月) 盛運祈願会 午後一時より

- ・毎月のお守り【霊神符】の交換日です。
- ・必ずお勤めに参拝し、お守りを戴きましょう。
- ・聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。
- ・蓮華寺檀信徒は必ずお守りを持ちましょう。



三 日(水) 鬼子母神小祭 朝のお勤め中

六 日(土)

鬼子母神大祭 午後六時半[®]より

十三日(土) 日蓮大聖人のご命日 午後一時より

- ・お経 (如来神力品第二十一 (訓読・日本語読み))
- ・如来寿量品第十六 (真読・漢字読み)
- ・日蓮大聖人へのご報恩を忘れず参拝しましょう。

二十日(土) 檀信徒研修会【唱題行】午後七時より

☆奉仕のお知らせ

三 日(水) 『鬼子母神大祭』の準備

・教宣部男女 午前九時より

六 日(土) 『鬼子母神大祭』のお手伝い

・教宣部男女 午後三時より

七 日(日) 『鬼子母神大祭』の後片付け

・教宣部男女 午前十時より

※『鬼子母神大祭』は大事事ですので、準備、後片付け等が大変です。

※部員の方は必ず、また部員以外の方でも是非ともご奉仕をよろしくお願い致します。

(注)時間までご集合下さい。

教宣部長・杉淵昌三

『十三日のお勤め』

毎月午後一時より
に参拝しましょう